

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K01
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動 I			実技・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	2	島田 幸紀／梅原 萌子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
球技大会や遠足、各種展示会の見学、その他行事など、通常の教科の学習を越えた範囲のさまざまな学習活動を行う。校外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。					
授 業 の 概 要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・遠足・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。					
成 績 評 価 の 方 法					
各行事への学習意欲で評価する。					学習意欲 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
入学式			4		
新入生オリエンテーション			18		
展示会見学等			8		
防災訓練			2		
秋の遠足			8		
スポーツフェスティバル			8		
始業式・終業式など			12		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K02
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅱ			実技・演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	町野 教和
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
始業式、終業式、卒業式など各種行事、および球技大会や遠足などの体育活動などを実施する。修学旅行も周囲に配慮しながら集団行動することを学ぶ絶好の機会であり、授業では得られない学習効果が期待できる。コミュニケーション能力を向上させ、より良い人間関係を構築できるようになる。					
授 業 の 概 要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・遠足・球技大会や展示会見学など）が科目として消化される。欠席しないことが大事である。					
成 績 評 価 の 方 法					
各行事への学習意欲で評価する。					学習意欲 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
始業式・終業式など		12			
展示会見学		8			
防災訓練		2			
秋の遠足		8			
スポーツフェスティバル		8			
修学旅行		40			
企業説明会・卒業式等		12			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度
時間数は45分換算				C-K03	
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
キャリアサポート I			講義・演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	1	人材サポート 長崎一朗 富田美穂子 近田麻衣子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
「なぜ人は働くのか」通常、「経済的理由・社会的理由・個人的理由」と言われるが、どれに重きを置くかは、それぞれの価値観と置かれた環境に大きく影響される。この授業は、現実の社会、企業が求める人材、雇用情勢の把握と、その中で自分のあり方についての理解（自己分析）を深め、そこから進路選択につながるキャリア形成プランニングを体系化していく。さらに早い時期から就職活動への意識を高め、その実践的ノウハウを習得する。変化していく雇用環境に対応できる自立人間と自律人材になることを目標とし、その礎となる授業である。					
授 業 の 概 要					
キャリアデザインの考え方を理解し、社会に通用する人材になるための指標を持つ。時間の意識・挨拶等マナーの理解と実践・スピーチカトレニング・ディスカッション等によりEQコミュニケーション力の強化も図る。就職環境・業種・職種・企業の理解促進。自己分析のワークシート（課題）と履歴書（課題）を作成し、今後の就職活動にも連動していく。					
成 績 評 価 の 方 法					
出席日数・キャリアデザイン自己分析ワークシート記入内容・履歴書記入内容・レポートの結果や取り組み状況に基づき、成績評価を行う。ワークシートへは詳細に記入することを心掛けてください。					課 題 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
「就活のコツ／静岡新聞社」 授業に関するテキスト以外の資料は、授業の中で適時プリントを配布します					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1 ①就職できる力／ワーク①天職探索		2	10 ⑩エントリーシート ⑪自己PR 動画		2
2 ②夢を描く／ワーク②10年後のやりたい自分 ワーク③学生生活経歴書		2	／ワーク⑬エントリーシート ワーク⑭自己PR		
3 ③業種・職種の理解／ワーク④成功体験		2	11 ⑬面接の受け方		2
4 ④何ができる何がしたい ⑭ステップアップ ／ワーク⑤失敗体験		2	⑮集団・グループディスカッション		
5 ⑤自分を知る自己分析／ワーク⑥自己ワークシート		2	⑯オンライン面接		
6 ⑥⑦求人票・求人情報／ワーク⑦他己ワークシート		2	／ワーク⑯面接対策 ワーク⑰面接質問		
7 ⑧職場訪問／ワーク⑧仕事探索		2	12 ⑰添え状		2
ワーク⑨未来予想 ワーク⑩未来スケジュール			⑱電話のかけ方		
8 ⑨インターンシップ		2	⑳筆記試験		
／ワーク⑪就職条件⑫インターンシップワーク			／ワーク⑳封筒・添え状・お礼ワーク		
9 ⑨履歴書／ワーク⑮履歴書※「学校指定」履歴書		2	13 キャリアデザイン論総括		2
			14 就職ゼミ		4
その他			関連科目		
企業が求める常識力、規律意識、ビジネスマナーを授業でも心掛けてください。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K04
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
キャリアサポートⅡ			演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必須	30	1	松川 麻美
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
社会人にとって様々な年齢層や価値観の方と円滑に仕事をするために必須となる「ビジネスマナー」や「コミュニケーション」の取り方を知識だけでなくロールプレイングし、習得する。また、就職活動にも活かしていく。					
授 業 の 概 要					
「社会人としての心構えやルール」、「効率的な仕事の進め方」、「変化への機敏な対応」を学び、ビジネスで起こりうるミスや失敗などの事例を取り上げ、各場面の対応方法を身につけていく。 また就職活動でも困らないビジネスマナー（電話応対やメールなど）も体得する。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業に取り組む姿勢や ロールプレイングの正確性・柔軟性を判定する。				期末試験	60%
				課 題	30%
				学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
社会人の教科書1年生 新屋出版					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1 ビジネスパーソンとしての心構え			8		
2 コミュニケーションとビジネスマナー			6		
3 コンプライアンスとセキュリティ			2		
4 ビジネスライティングの基本			6		
5 電話応対			2		
6 名刺交換			2		
7 会社訪問			2		
8 期末試験			2		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K05
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
ビジネスアプリケーション			演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	梅原 萌子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
Microsoft Office 365 の Word と Excel の基礎を習得する。Word・Excel の操作及び演習を通して、それぞれのアプリケーションの理解を深める。ビジネス文書作成、関数を使った表作成が理解できるようになる。					
授 業 の 概 要					
Word では、様々な機能を習得し、最終的に簡単な表と図などが含まれたビジネス文書を作成することが出来るようになる。Excel では、基礎的な関数、少し高度な関数（IF・VLOOKUP）の習得、グラフ、データベース機能を使用し、視覚的にデータをまとめる技術を身に付ける。					
成 績 評 価 の 方 法					
学習意欲、演習課題の評価点を総合評価したうえで決定する。演習課題については、要求された課題を、決められた期日までに提出することが最低条件である。					課 題 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
今すぐ使えるかんたん Word&Excel2021（技術評論社） 演習課題（自作）					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
Word		時間数	Excel		時間数
1.基本操作		1	1.基本操作		2
2.基本的な文書を作成しよう		2	2.表を作成しよう		2
3.文書を編集しよう		2	3.数式を使って計算しよう		2
4.表を作成しよう		2	4.関数を使って計算しよう		3
5.図形と画像を挿入しよう		2	5.表の見た目を整えよう		2
			6.グラフを作成しよう		2
			7.条件付き書式を設定しよう		2
			8.データを整理しよう		2
			9.シートやブックを使いこなそう		2
			10.表を印刷しよう		2
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-K06
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
情報基礎理論			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	30	2	島田 幸紀	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
基本情報技術者試験におけるハードウェア分野において、合格するために十分な得点を取ることを目標とする。2進数～16進数の基礎的な計算、基数変換ができる。 コンピュータの五大装置について理解し、その役割を説明できる。						
授 業 の 概 要						
情報および情報処理の基礎を学ぶ。特に2進数、8進数、16進数の取り扱いや基数変換をはじめ、コンピュータの五大装置など、基本的な仕組みを学習する。						
成 績 評 価 の 方 法						
試験結果および授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験	40%
					小テスト	40%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
「ITワールド」(インフォテック・サーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ)						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. コンピュータの基本構成						
1-1. コンピュータの歴史			4			
1-2. コンピュータの五大装置			4			
2. コンピュータのデータ表現						
2-1. データの表現			8			
2-2. 基数と基数変換			8			
2-3. データの表現形式			4			
期末テスト			2			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K07
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
コンピュータシステム			講義・演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	60	4	島田 幸紀
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
国家試験「基本情報処理試験」に合格するため、基本情報処理全般のうち情報処理システムおよびソフトウェアに関する知識を理解し、合格への得点獲得率をあげる。これにより、国家資格「基本情報処理」の午前免除試験の合格を実現する。					
授 業 の 概 要					
1. 情報処理システムの形態、高信頼化、評価に関する技術体系に関する知識を習得し、常に進化する情報処理システムに誕生する専門用語を確実に覚える。 2. ソフトウェアの分類、OSおよびプログラム言語とファイル構造に関する知識を体系的に整理し、専門用語を覚える。					
成 績 評 価 の 方 法					
前期（7月）：当該授業の学習範囲に対して実施する				期末試験	50%
小テスト：授業時に実施する小テストを評価する				小テスト	20%
学習意欲： 学習に対する意欲を総合的に評価する				学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
ITワールド (株)インフォテック・サーブ					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 情報処理システムの処理形態			6. ソフトウェアの分類		
(1) 非対話型と対話型		2	(1) 体系分類		4
(2) 一括、即時、集中、分散		4	(2) ライセンス分類		2
2. 高信頼化システム			7. OS		
(1) 直列、並列		4	(1) 機能と構成		4
(2) 多重化		4	(2) 管理機能		4
3. 情報処理システムの評価			8. 言語とプロセッサ		
(1) 処理能力		6	(1) プログラム言語の分類・特性		4
(2) 信頼性と経済性		4	(2) プログラム言語の属性		2
4. ヒューマンインタフェース		2	9. ファイル		
5. マルチメディア		2	(1) ファイルとレコード		2
			(2) アクセスと編成		4
			(3) 管理とバックアップ		4
			10. 試験		2
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度
時間数は45分換算				C-K08	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
システム開発基礎			講義 演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	富張 一郎
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
情報処理技術者試験基本情報技術者試験（午前出題範囲）の「システム開発基礎」3分野(*)の知識を習得し、対象範囲の問題に対応できるようになる。 (*) 情報システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント					
授 業 の 概 要					
システム開発基礎の内容は、多くの学生には馴染みが薄い。更に、対象範囲が広く、個人対応では限界がある。また、資格取得問題に早く慣れる必要もある。このため、各人の力の結集を図る。 具体的には、試験問題内容の説明後、グループ内で全員の分担を決め、各々が担当分問題の解及び周辺情報を収集する。これにより、適宜試験問題に触れ、自分の力で解くようになることを目指す。その上で、収集した情報をグループ内で共有し、全員が広い範囲に対応できるようになることを目指す。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験の結果、課題の提出および学習意欲をもとに、総合的に評価する。 適宜行う小テストで学習意欲を、また課題により、講義および試験問題に出る基本事項を理解しているか、評価する。				期末試験	60%
				課 題	10%
				学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
「IT 戦略とマネジメント」（インフォテック・サーブ）					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
第3部 情報システム戦略			第5部 プロジェクトマネジメント		
第1章 情報システム戦略の概要		3	第1章 プロジェクトマネジメントの概要		1
第2章 情報システム企画		3	第2章 プロジェクトマネジメントのプロセス		7
第4部 開発技術					
第1章 システム開発技術 (SLCP 開発プロセス)		8			
第2章 ソフトウェア開発技術		6			
第3章 システム開発環境		1			
第4章 Web アプリケーション開発		1			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K09
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
IT 戦略			講義	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必須	30	2	山崎 弘
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
国家資格「基本情報処理」の午前免除試験の合格できるようになる。 合格には、企業と法務、経営戦略、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメント、監査と内部統制に関する知識を習得し、得点獲得率を高めることが重要です。					
授 業 の 概 要					
IT戦略とマネジメントの分野について、IT 技術を活用した企業活動や各種戦略マネジメントに関する知識を習得します。授業は講義と問題演習を通じて、専門用語の理解と体系的な知識を関連付け、国家試験問題の傾向を過去問題から分析しながら効率的な授業をおこなう。					
成 績 評 価 の 方 法					
試験：前期（7月）：当該授業の学習範囲に対しておこなう 課題：授業時に配布するレジュメの学習状況を評価する 意欲：毎時の学習意欲および学習姿勢について、総合的に評価する					試 験 50% 課 題 20% 意 欲 30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
IT戦略とマネジメント (株)インフォテック・サーブ 授業時に配布する学習項目毎のレジュメ、演習問題					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1 部・2 部(山崎)			6 部・7 部(山崎)		
1. 企業と法務		4	8. サーマネジメント		3
2. 企業会計		4	9. システム監査と内部統制.		3
3. 経営科学		4	10. 試験		
4. 法務と標準化		2			
5. 経営戦略マネジメント		4			
6. 技術戦略マネジメント		4			
7. ビジネスインダストリ		2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-K10
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
アルゴリズム			講義		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
1	前期	必修	60	4	町野教和	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
プログラムを構築するためには、効率よくトレースしやすい処理手順を考えなくてはならない。 3つの基本構造を理解し、配列による集計や、並び替えなど様々な処理手順を理解する。 基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。						
授 業 の 概 要						
データ構造とアルゴリズムについて学習する。フローチャートの作成やトレース、よりプログラムに近い疑似言語を学習する。 また、基本情報技術者試験で必要なアルゴリズム分野を学習する。						
成 績 評 価 の 方 法						
小テスト、試験結果および出欠席状況、授業態度等を勘案して総合評価する。					期末試験	80%
					課 題	10%
					学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
初心者が合格できる知識と実力がしっかり身につく 基本情報技術者 [科目 B] (SB クリエイティブ) 科目 B 試験対策問題集(インフォテック・サーブ)						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
概要			6			
流れ図			4			
疑似言語			4			
科目 A 対策			12			
計算のアルゴリズム			8			
繰り返し			4			
配列			4			
探索			4			
整列			4			
データ構造			4			
実践アルゴリズム			4			
期末試験			2			
その他				関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。						

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-K11	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
システム設計基礎			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	1	町野教和
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
システム開発の現場では設計書の作成することは重要である。 情報処理試験で問われる設計に関する知識を前提として、各設計書の必要性を理解し、顧客の要求を理解して設計書に落とし込むことができるようになる。					
授 業 の 概 要					
システム開発に当たり、要件定義、外部設計、内部設計、実装、テストの各フェーズを演習により学習する。実際にドキュメントを作成しながら実装前、実装後に必要なスキルを身につける。 状況により上級生の制作物を参考にする。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題および学習意欲、発表および提出物の内容をもとに、総合的に評価する。					発 表 60% 提 出 物 30% 学習意欲 10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
必要に応じて配布					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
基礎知識		2			
個人作成テーマ		8			
グループ演習		16			
発表		4			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-K12	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
データベース基礎			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	前期	必修	30	2	坂本 登喜雄
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
基本情報技術者試験におけるデータベース分野において、合格に十分な得点を取ることを目標とする。 データベースの概念設計から物理設計までの概要と DBMS に対する概要を理解している。 SQL を利用した基礎的なデータ操作を実行でき、机上の問いに答えることができる。					
授 業 の 概 要					
関係データベースを中心に、データモデルとデータベースシステムの基本概念を理解し、授業範囲と対応する基本情報技術者午前問題集を活用し、問題を解く力をつける。					
成 績 評 価 の 方 法					
試験結果で評価する。					期末試験 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
IT ワールド (インフォテック・サーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
第1節	データのモデル化	3			
第2節	データベース設計	3			
第3節	データの正規化	3			
第4節	SQL の基本	3			
第5節	SQL の応用	4			
第6節	データベースの演算	4			
第7節	データベース管理システム	4			
第8節	データベース応用	4			
試験		2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-K13	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ネットワーク基礎			講義		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	前期	必修	30	2	高木 健至		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
インターネットに代表される、コンピュータネットワークの基礎知識を学び、ネットワーク構築技術を習得する。情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。							
授 業 の 概 要							
ネットワークの基礎技術と、プロトコルを始めとするアーキテクチャに関する知識から、我々の生活を支える社会基盤となっているLAN，インターネットの仕組みを学習する。							
成 績 評 価 の 方 法							
試験結果および学習意欲を勘案して総合評価する。						期末試験	80%
						学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
IT ワールド (インフォテック・サーブ) 基本情報技術者午前問題集 (インフォテック・サーブ)							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1 第1章 ネットワークの仕組み LAN、WAN 変調、同期、誤り制御			時間数 6	第5章 ネットワーク管理 管理ツール			時間数 2
第2章 ネットワークアーキテクチャ OSI、TCP/IP			6				
第3章 LAN 有線、無線、トポロジ CSMA/CD、LAN 間接続装置			6				
第4章 インターネット TCP/IP プロトコル 電子メール、WWW			10				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K14
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
We b プログラム I			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	小澤 朋子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
Web サイト制作の基本となる HTML5、CSS3 によるコーディング方法を学習する。現在の Web 制作は JavaScript は必須であることから、サンプルをもとにプログラミングとマークアップの共存を理解しつつ、Web におけるマークアップの存在を理解できるようになる。					
授 業 の 概 要					
Web 制作において、HTML・CSS は必須の知識ではあるが、頻度の高いマークアップ手法やルール、ページ構成など主に学ぶ。サンプルページ制作において実践的に学ぶことが習得の近道となるため、欠課数が多いと試験の結果に大きく影響する。ページ制作を通じて別のプログラミング言語と共存していく意識を伝えることも重要となる。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験の結果、課題の評価点、学習意欲（出欠席状況、授業態度）を総合評価した上で決定する。課題提出は、必要最小限の機能が実現され、期日提出が評価の対象となる。					期末試験 50% 課 題 40% 学習意欲 10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
HTML/CSS の絵本（web コンテンツ作りの基本がわかる 9 つの扉）					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		時間数
1. オリエンテーション			2		
2. Web サイトの概要			2		
3. HTML の基礎			3		
4. HTML の要素			4		
5. CSS の基礎			4		
6. CSS プロパティ（1）			4		
7. CSS プロパティ（2）			4		
8. レスポンシブデザイン			4		
9. JavaScript			3		
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K15
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
Web プログラムⅡ			演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	選択	60	2	伊藤 崇洋
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
Web アプリケーション開発の原理と理屈の理解 基本的な PHP による動的ページ作成の習得 チーム開発の基礎の習得					
授 業 の 概 要					
Web アプリケーションに求められる社会背景から、実際に開発業務で求められる基礎知識を原理や理屈から学びます。対象とする範囲は Web サーバー、データベース、静的ページとしての HTML、動的ページの言語としての PHP とします。それぞれの基礎の学習と応用を繰り返して進めていきます。					
成 績 評 価 の 方 法					
Web アプリケーション開発の原理と理屈の理解度を小テストなどにより評価 基本的な PHP による動的ページ作成の習熟度を課題の成果を客観視評価 チーム開発の基礎の習得や協調性などを観察により評価					試 験 15% 課 題 70% 学習意欲 15%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
講師作成によるテキスト					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. ガイダンス	2	8. チーム開発とプロジェクト管理			2
2. Web ソリューションと社会背景	2	9. 設計実習			4
3. システム要件と Web アプリケーション	2	10. 開発実習			16
4. システム要件と設計	2	11. 試験実習			4
5. 試験とパターン	2	12. 最終発表			4
6. 静的ページと動的ページ	12				
7. フロントエンドとサーバーサイド	8				
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K16
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
情報セキュリティ			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	6	坂本 登喜雄・梅原 萌子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
インターネットを中心に発展した情報技術のうち、情報セキュリティに関する基礎的知識及び技術を理解する。 基本情報処理技術者試験の取得に必要な知識を習得し対象範囲の問題に対応できるようになる。					
授 業 の 概 要					
公開鍵暗号技術を中心にした現在の情報セキュリティ基盤を学習し、その概要を理解する。また、情報セキュリティ対策を、人的対策、技術的対策及び物理的対策毎に学習する。 基本情報技術者試験対策として、基本情報技術者試験問題集のうち情報セキュリティ問題を実施する。					
成 績 評 価 の 方 法					
試験結果で、総合評価する。				前期 期 末 試 験	100%
				後期 期 末 試 験	60%
				課 題	30%
				学 習 意 欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
ITワールド (インフォテックサーブ) SEA/J テキスト					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
第1章 情報セキュリティの概要					
1. 1-1	情報セキュリティの概要	4	10. SEA/J	試験対策	48
2. 1-2	情報セキュリティ技術	8	11. SEA/J	試験	2
3. 1-3	情報セキュリティ管理	5			
4. 1-4	情報セキュリティ期間・評価基準	5			
第2章 情報セキュリティ対策					
5. 2-1	人的セキュリティ対策	4			
6. 2-2	技術的セキュリティ対策	4			
7. 2-3	物理的セキュリティ対策	4			
8. 2-4	セキュリティ実装対策	4			
9.	試験	2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K17
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
プログラム言語 I			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	90	3	横路 岳彦
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
プログラミングの基本構文を理解し、200 行程度のプログラムが書けるようになる。 C 言語プログラミング能力認定試験 3 級、2 級の合格を目標とする。					
授 業 の 概 要					
C 言語プログラミング能力認定試験に関連した下記の分野を学習する。 データの入力と出力 配列 プリプロセッサ プログラミングの基本構造 ポインタ 構造体 関数 データ型変換 ファイル処理					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験の結果に、学習意欲を加算して総合評価する。					期末試験 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
C プログラミング インフォテック・サーブ					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数		時間数	
開発環境の準備、概要		2	ポインタ	4	
データの入出力		2	プリプロセッサ	4	
データ型		2	変数の操作	4	
構造化プログラミング		20	構造体、列挙型	4	
選択			ファイル入出力	4	
繰り返し			期末試験	4	
配列		12	資格試験対策、本試験	16	
関数		8			
復習		4			
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度
時間数は45分換算				C-K18	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
プログラム言語Ⅱ			演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	90	3	坂本 登喜雄
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
Object 指向 (カプセル化、継承、ポリモフィズム) を利用したプログラミングができる。 クラス、インスタンス及びオブジェクトの作成とその利用ができる。 Windows アプリケーションを作成できる。					
授 業 の 概 要					
Java 言語は、Windows, Network, Web 及び Android アプリケーションの作成言語として、広く利用されている。Java 言語の基本知識を習得し、この言語によりアプリケーション開発技術を高める。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験で評価を行います。					期 末 試 験 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
Java 第3版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング (翔泳社) Java 第3版 実践編 アプリケーション作りの基本 (翔泳社)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
	時間数		時間数		
入門編	1	3. スレッド	4		
1. Java 言語に触れる	2	4. ガーベッジコレクション	4		
2. Java 言語の基本	3	5. コレクション	4		
3. 条件分岐と繰り返し	4	6. ラムダ式	4		
4. メソッド	4	7. 入出力	4		
5. クラスの基本	4	8. GUI アプリケーション	4		
6. クラスの一步進んだ使い方	4	9. グラフィックスとマウスイベント	4		
7. 継承	4	10. ネットワーク	4		
8. 抽象クラスとインターフェース	4	11. 一步進んだ Java プログラミング	4		
実践編		Windows アプリ作成	16		
1. パッケージと JavaAPI	2	試験	4		
2. 例外処理	2				
その他	関連科目				

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度
				科目コード		C-K19
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
プログラム言語Ⅲ			演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	前期	必修	60	2	梅原 萌子	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
近年利用が増えているプログラム言語 Python によるプログラム開発の基本を学習する。 Python の基本を習得し、将来的に機械学習やデータ分析に応用できることを目的とする。						
授 業 の 概 要						
Python について、基本構文から、応用的な手法について学習する。 機械学習、AI 分野も触れていく。						
成 績 評 価 の 方 法						
演習課題及び学習意欲（出欠状況・授業態度）を総合評価したうえで決定する。					課 題	80%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
Web 教材を利用する						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. Python を使う準備			時間数 2	7. 入出力		時間数 6
2. Python インタープリタ			2	8. エラーと例外		4
3. データ型			4	9. クラス		6
4. 制御構造			6	10. 標準ライブラリ		8
5. データ構造			6	11. 応用及び演習		10
6. モジュール			6			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-K20	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報処理試験対策Ⅰ			講義		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
1	後期	必修	210	14	梅原萌子／町野教和／青木伴暢		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
コンピュータ科重点目標である「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」の合格に向けた対策授業を行う。 試験に合格できるようになる。							
授 業 の 概 要							
前期学習する基本情報技術者関連科目について、復習を中心とした理解の定着と、基本情報技術者試験の過去問題から傾向と対策を施し、合格を目指した学習を行う。							
成 績 評 価 の 方 法							
出席業況、授業態度等を勘案して総合評価する。						学習意欲 100%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
情報処理試験問題集							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
科目 A 対策			30				
科目 B 対策			40				
過去問演習・模擬試験			140				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度		
時間数は45分換算				科目コード		C-K21		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
情報処理試験対策Ⅱ			講義		コンピュータ科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
2	前期	必修	150	10	梅原萌子／町野教和／青木伴暢			
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標								
コンピュータ科重点目標である「基本情報技術者試験」「応用情報技術者試験」の合格に向けた対策授業を行う。 試験に合格できるようになる。								
授 業 の 概 要								
前期学習する基本情報技術者関連科目について、復習を中心とした理解の定着と、基本情報技術者試験の過去問題から傾向と対策を施し、合格を目指した学習を行う。								
成 績 評 価 の 方 法								
出席業況、授業態度等を勘案して総合評価する。						学習意欲 100%		
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材								
情報処理試験問題集								
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画								
過去問演習・模擬試験			時間数					時間数
			150					
その他				関連科目				

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K22
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
資格取得講座 I			講義・演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	通年	必修	60	4	梅原萌子・横路岳彦
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
情報分野を学ぶ者にとって、実際のコンピュータ製品を理解することは重要なことである。 CompTIA 主催 ITFundamentals+試験で問われる内容に対応できるようになる。 後半ではC言語プログラミング能力認定試験3級に合格できるようになる。					
授 業 の 概 要					
テキストの単元に沿って進めていく。ハードウェア、ソフトウェア、周辺機器等について理解度を深める。また、単元終了ごとに小テストを行い、単語やキーワードの理解、定着を図る。 後半はサーティファイプログラミング能力認定試験3級合格を目指す。					
成 績 評 価 の 方 法					
小テスト、CompTIA ITF+ 試験結果および出欠席状況、期末試験結果を勘案して総合評価する。				期末試験	40%
C言語試験については3級の試験と同等の試験を実施しその結果を成績とする。				課 題	30%
				学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
TIF+ 問題集 C言語の演習問題は適宜提供する					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
	時間数		時間数		
1. イントロダクション	2	C言語 試験問題演習	13		
2. ITの概要と専門用語	4	期末試験	2		
3. インフラストラクチャ	4				
4. アプリケーションとソフトウェア	4				
5. ソフトウェア開発の概要	4				
6. データベースの基礎	4				
7. セキュリティ	2				
8. 期末試験	2				
CompTIA ITF+試験	4				
そ の 他			関 連 科 目		
			プログラム言語 I		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-K23	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
資格取得講座Ⅱ			講義		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必須	30	2	横路 岳彦
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
サーティファイ プログラミング能力認定試験 3 級もしくは 2 級試験に合格できるようになる。					
授 業 の 概 要					
サーティファイ C 言語プログラミング能力認定試験 3 級の内容に加えて、エンジニアに必要な知識、関数や変数のスコープ、ポインタの扱い等のより高度な技術要素を学ぶ。					
成 績 評 価 の 方 法					
サーティファイ プログラミング能力認定試験 または同等の試験の得点を評価する。					試 験 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
演習用の問題は適宜配布する。					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
問題演習・解説			時間数 30		時間数
その他			関連科目		
			プログラム言語Ⅰ 資格取得講座Ⅰ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K24
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
資格取得講座Ⅲ			講義	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	4	坂本 登喜雄
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
Java プログラミング能力認定試験の合格を目指す。 Java プログラミング能力認定試験合格のために過去問題集を解けるようになる。					
授 業 の 概 要					
関連する過去問題集を実施する					
成 績 評 価 の 方 法					
Java プログラミング能力認定試験と期末試験より年間評価を行う。					試 験 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
過去問題集					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
過去問題集を実施する					
1.Java プログラミングの特徴		2			
2.オブジェクト指向の基礎		6			
3.プログラム開発の基礎		8			
4.Java の文法の基礎		12			
5.機能理解とプログラミング		15			
6.機能理解とプログラミング (クラス、メソッド)		15			
試験		2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K25
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
ネットワーク応用			講義・演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	60	2	高木 健至 / 町野 教和
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
ネットワーク分野において基本情報技術者試験の対策授業で習得した知識をもとに、ネットワークの実践構築を行う。ネットワーク構築シミュレーションソフトを活用して、ネットワーク機器の設定や接続、LAN 構築などネットワークに関する応用力を培う。					
授 業 の 概 要					
CISCO 製のネットワーク機器（スイッチやルータなど）の基本概念を理解することから入り、その機器を使った LAN 構築を演習する。インターネットを中心としたネットワークインフラの仕組みを理解し、機器の設定やケーブリングなど実践的な LAN の構築を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
演習課題の提出、小テストおよび期末試験をもとに、総合評価する。				期末試験	50%
				課 題	40%
				学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
[ネットワーク超入門]手を動かしながら学ぶ IP ネットワーク(技術評論社) プリント配布					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. ネットワークセキュリティ(基本情報科目 B)			12		
2. Cisco パケットトレーサ導入・基本操作			4		
3. ルーティング設計・設定			8		
4. DHCP・DNS 設定			4		
5. NAT・NAPT 設定			4		
6. 総合演習			10		
7. ネットワークセキュリティ(応用)			16		
8. 期末試験			2		
その他				関連科目	
Cisco Networking Academy ※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				C-K26	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
プログラム開発演習			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
1	後期	必修	30	1	町野 教和
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
これまでに学んだC言語やC#を用いて実際にソフトウェアを開発する。 実際の開発現場で使われている統合開発環境の活用方法を学ぶ。					
授 業 の 概 要					
C言語とC#を用いたソフトウェア開発の基本を理解し、統合開発環境(IDE)を使ってデスクトップアプリケーションを作成できるようになる。 コンパイル、実行、デバッグできるようになる。					
成 績 評 価 の 方 法					
演習課題の提出、学習態度、出欠状況を総合評価する。 期限内に提出されたか、求められる機能を満たしているかを評価する。未提出の場合には成績評価を行わない。					課 題 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
適宜演習課題を提示する。					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
C言語の復習・ソフトウェア開発の概要					
統合開発環境の基本的な使い方		6			
C言語でのプログラム作成		4			
実行・コンパイル・デバッグ		4			
C言語プログラムの実践		4			
C#の基本・文法		4			
統合開発環境によるアプリケーション開発		4			
最終課題・評価		4			
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	C-K27
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
特別講義			演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	後期	必修	30	1	水野健治郎	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
業務システムの問題点に対し、改善方法を考え、システム変更を行う。システム変更時に必要な資料の作成、コーディング、テスト等のスキルを学ぶ。チーム単位での演習を通して、ビジネス遂行に必要な「報告・連絡・相談」、「情報共有スキル」を習得することを目的とする。						
授 業 の 概 要						
株式会社 KIDA-LA で使用している受注受付業務の問題点「手書き伝票の記入による時間ロスと記入ミスの多発」「新規顧客情報の登録遅延による登録漏れ」に対し、ソフトウェア詳細設計を行い、コーディング、単体テスト、結合テストを行い、制作した内容を発表する。						
成 績 評 価 の 方 法						
結果および授業態度等を勘案して総合評価する。					資料制作	20%
					成果発表	70%
					学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
Java システム開発演習 株式会社インフォテック・サーブ出版						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. JDBC①、②			4			
2. プロジェクト内容習熟 ソフトウェア詳細設計①			4			
3. ソフトウェア詳細設計②、③			4			
4. ソフトウェアコード作成及びテスト①、②			4			
5. ソフトウェアコード作成及びテスト③、④			4			
6. ソフトウェア結合 適格性確認テスト 成果発表会準備			4 2			
7. 成果発表会			4			
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度
時間数は45分換算				C-K28	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
データベース応用			演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	長谷川 和明
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
データベースソフトウェアを使用してデータベースを構築することができる。 データベースソフトウェア上でSQLを使用し、データ操作をすることができる。					
授 業 の 概 要					
業務で取り扱われているデータベースソフトウェアを、実際にインストール、データベースの構築を通して、SQLを中心に学習を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
試験結果および課題提出、授業態度等を勘案して総合評価する。				期末試験	45%
				課 題	45%
				学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
基本がわかる SQL 入門 (技術評論社) を利用する					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. SQL の基本ルール		2			
2. 集合演算子・式と関数		4			
3. 集計とグループ化		4			
4. 副問い合わせ		4			
5. テーブルの結合		6			
6. トランザクション		6			
7. 外部キーと参照整合性		6			
8. データベースをより安全に使う		6			
9. 概念設計・論理設計・物理設計		6			
10. 正規化の手順		6			
11. データベース構築演習		10			
その他			関連科目		

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		C-K29	
授業科目名			授業形態		学科・コース		
システム構築演習			演習		コンピュータ科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	60	2	富張 一郎		
授業の目的・到達目標							
大規模化かつ高度化している情報システムは、その開発の効率化が急務であり、オブジェクト指向の考え方がキーとなっている。それに伴い、オブジェクト指向に即した表記法である UML の活用は、開発現場での意思疎通に有効な手段となってきた。 この講座では、UML 主要ダイアグラムおよびシステム開発での活用例を紹介し、更に演習で実践の図り、理解推進を進める。これらを通して、UML の基本文法の習得および有効性の認識を目指す。							
授業の概要							
UML の主要ダイアグラム（ユースケース図、オブジェクト図、クラス図、シーケンス図、コミュニケーション図、ステートマシン図、アクティビティ図）に的を絞り、講座（講義および演習）を全員参加のチーム活動として行う。 先に、各ダイアグラムおよび工程ごとの UML 実践例を学び、次にチーム毎に設定したシステム開発（要求～設計）工程の演習を行う。なお、ツールとして astah*を使用する。							
成績評価の方法						期末試験	60%
適宜行う小テストで学習意欲を、また課題により、講義および試験問題に出る基本事項を理解しているか、評価する。						課題	10%
						学習意欲	30%
使用テキスト・教材							
かんたん UML 入門 [改訂2版]（プログラミングの教科書） パワーポイント資料（講師が準備）							
授業内容・授業計画							
[オリエンテーション]			時間数				時間数
ツールのインストール、試用			4	・ステートマシン図			2
				・アクティビティ図			4
1. モデリング、UML			2	5. 実践例			8
2. オブジェクト指向と UML			4	6. システム開発演習			12
3. 開発プロセス			2				
4. 主要ダイアグラム				7. テスト（含. 小テスト）			4
・ユースケース図			4				
・オブジェクト図			4				
・クラス図			4				
・相互作用図							
ーシーケンス図			4				
ーコミュニケーション図			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は45分換算					科目コード	C-K30
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
サーバ構築演習			演習		コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
2	通年	必修	60	2	町野 教和	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
各種サーバの役割を理解し、Linux サーバを構築することができる。 コマンドラインインタフェース (CLI) を用いて Linux サーバを操作することができる。						
授 業 の 概 要						
ノートパソコンで仮想化環境を設定し、LinuxOS を構築する。OS としてのサーバを構築することから始め、Web サーバ・DB サーバなどの各種サーバアプリケーションを構築する。 サーバ構築に必要な各種設定を行いながら、Linux コマンドライン操作を学習する。						
成 績 評 価 の 方 法						
実習課題の提出結果および授業態度等を含めて、期末試験とで総合評価する。					期末試験	50%
					課 題	40%
					学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
テキスト：いちばんやさしい新しいサーバーの教本 自己所有ノートパソコン						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. 仮想化環境の構築、Linux の基本操作 2. リモート管理 3. Web サーバの構築 4. ファイル共有サーバの構築 5. DB サーバの利用 6. メールサーバの構築 7. セキュリティ設定 8. コマンドライン(ファイル操作) 9. シェル 10. サーバ設計 11. ユーザ管理・サービス管理 12. コンテナ環境の構築			時間数	13. Web アプリケーション構築 14. 期末試験		時間数
			2			12
			2			4
			2			
			2			
			4			
			4			
			4			
			6			
			6			
			8			
			2			
			2			
その他			関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K31
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
高度 IT			演習		コンピュータ科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	町野 教和
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
AI の基本的な仕組みを理解し、その種類や用途を説明できる。プロンプトエンジニアリングの基礎を習得し、効果的な指示を作成できる。Python を用いた AI 活用の実践スキルを習得し、API を利用して応用プログラムを作成できる。生成 AI をエンジニアリングに活用するための適切な方法を説明できる。					
授 業 の 概 要					
これからの時代、IT エンジニアにはより高度な技術の習得が求められる。本講義では、急速に発展する生成 AI (Generative AI) について学び、基礎理論から実践的な活用方法までを体系的に理解する。AI がどのように動作するのか、プロンプトエンジニアリングの重要性、Python を用いた API 活用法、さらには業界での実践的な応用までを幅広く学習する。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業で扱った内容から総合的な理解度を確認する期末試験を実施する。その他科大の提出状況、学習意欲を総合的に判断し評価する。				期末試験	50%
				課 題	40%
				学習意欲	10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
自己所有ノートパソコン GoogleColab 資料は適宜提供					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. AI 基礎、歴史、目的			2	11. プロジェクト演習	10
2. 種類と特徴、しくみ			4	12. 発表	4
3. リスクや限界			2	13. エンジニアの役割	2
4. プロンプトエンジニアリング			4	14. AI と社会的課題	2
5. プロンプト実践演習			4	15. 試験対策	2
6. Python による AI 活用			6	16. 期末試験	2
7. 画像生成			4		
8. データ解析			4		
9. コード支援			4		
10. エンジニアのための AI 活用			4		
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 C-K32
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
卒業制作			演習	コンピュータ科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必須	210	7	町野 教和／島田 幸紀 梅原 萌子／加藤 友規
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
これまでに学んだスキルを活かした作品制作、または授業で習得していないツールなどを使用し、独自に研究をすすめた作品制作など、コンピュータ科にて2年間学習してきた成果を発揮できるようになる。					
授 業 の 概 要					
2年間の学習成果をまとめるための総合的な研究を行う。各種開発ツールを駆使した、システム開発・マルチメディアソフト・ネットワーク対応ソフト、オフィス簡易プログラムを制作し、研究レポートにまとめ、作品発表会を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
作品、提出物、プレゼンテーションおよび学習意欲を総合評価する。					提 出 物 80% 学習意欲 20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1.企画、要件定義、レビュー			20		
2.外部設計、内部設計、レビュー			20		
3.プログラム設計、プログラミング			100		
4.中間発表			10		
5.プログラムの修正			20		
6.各種ドキュメント作成			20		
7.リハーサル			10		
8.研究発表			10		
その他				関連科目	